

An aerial photograph of a dense forest. The trees are arranged in a regular grid pattern, indicating a systematic planting or experimental layout. The forest is a vibrant green color. The text "林分密度試験地" is overlaid in the upper center of the image.

林分密度試験地

宮崎南部森林管理署

試験地設定時の背景(昭和48年度設定)

○ 藩政時代からの飢肥林業

特徴: 気候やオビスギの特性による
疎植・粗放な造船用材生産

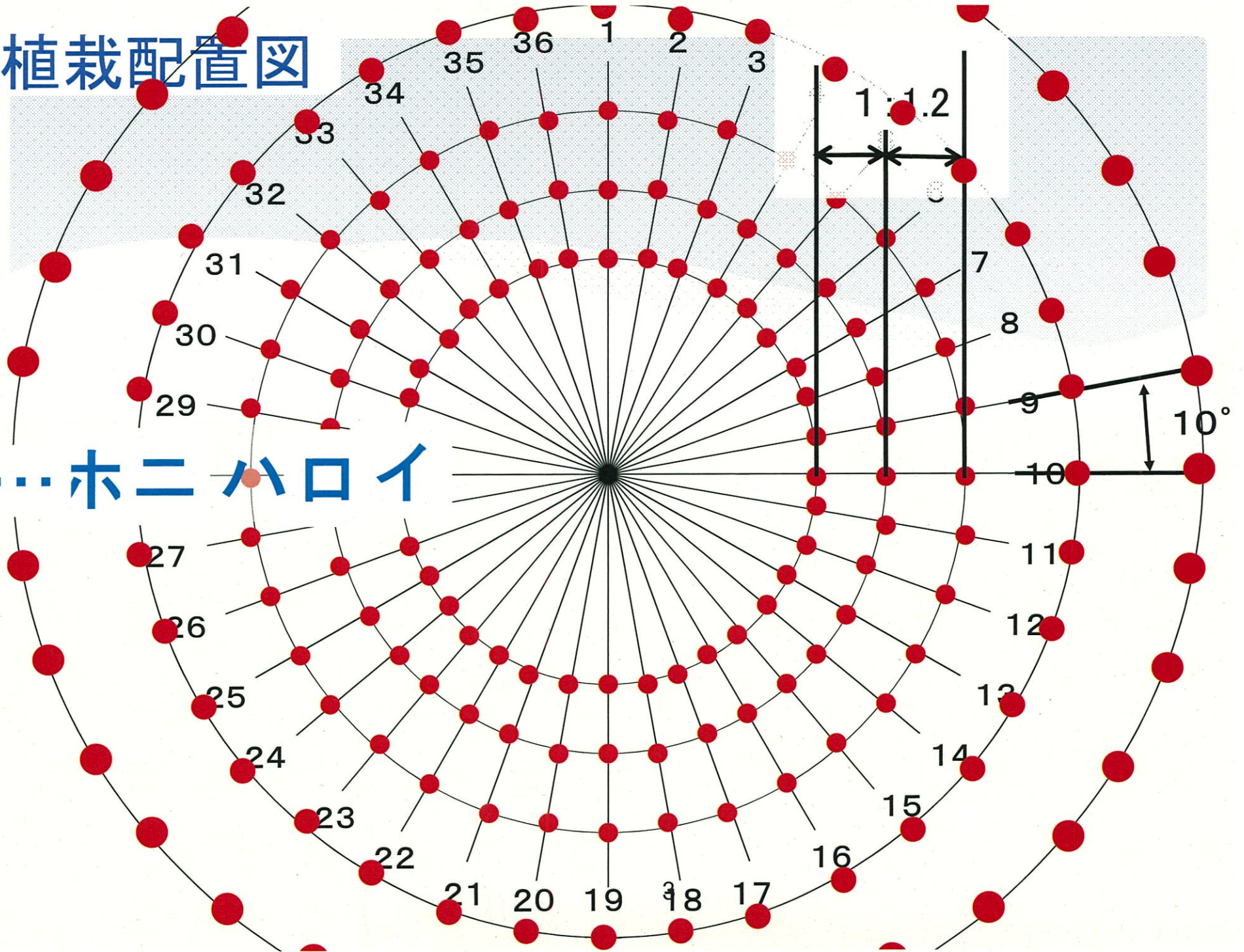
○ 需要構造と生産目標の変化

内容: 造船用材から建築用材へ
目荒から目細へ

○ 植栽密度の検討の必要

植栽配置図

…ホニハロイ



密度試験地設定時の植栽密度

同心円名	植栽本数	1本あたり占有面積(m ²)	haあたり植栽本数(本)	備考
イ	36			最内円
ロ	36	1.00	10,027	
ハ	36	1.43	6,987	
ニ	36	2.06	4,850	
ホ	36	2.97	3,365	
ヘ	36	4.28	2,339	
ト	36	6.15	1,626	
チ	36	8.87	1,128	
リ	36	12.78	783	
ヌ	36	18.40	544	
ル	36	26.49	377	
オ	36			最外円

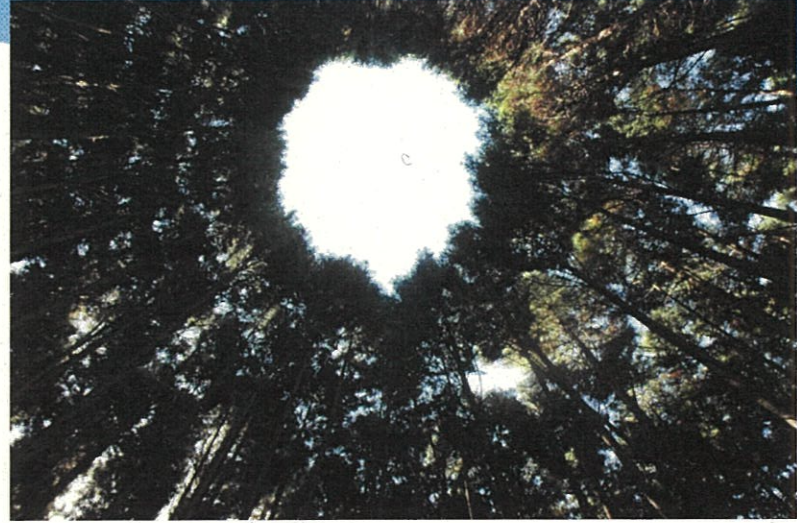
注:円名イ、オについては隣接木の影響が不均一となるため調査対象から除外

林分の現況

中心部



中心部



中心部から外円に向かって



外円部周辺



林分密度試験地の概要

場	所	宮崎県日南市北郷町郷之原
地	況	大荷田国有林140ぬ4林小班 標高 約320m 北西向きの山腹平衡斜面 平均傾斜 約25度 基岩 砂岩と泥岩の互層 土壌型 BD(d) 地位15等級
面	積	0.225ha × 2箇所 = 0.45ha (直径 69m)
試験期間		昭和48年度から平成35年度までの50年間

施 業 履 歴

植栽樹種 トサアカ1年生苗
(旧飢肥営林署種苗事業所で育苗)

保育状況 植 付 昭和49年(1974年)3月
下 刈 昭和49年から56年
(2年目、3年目に2回刈)

施 肥 昭和51年

つ る 切 昭和53年、54年、55年

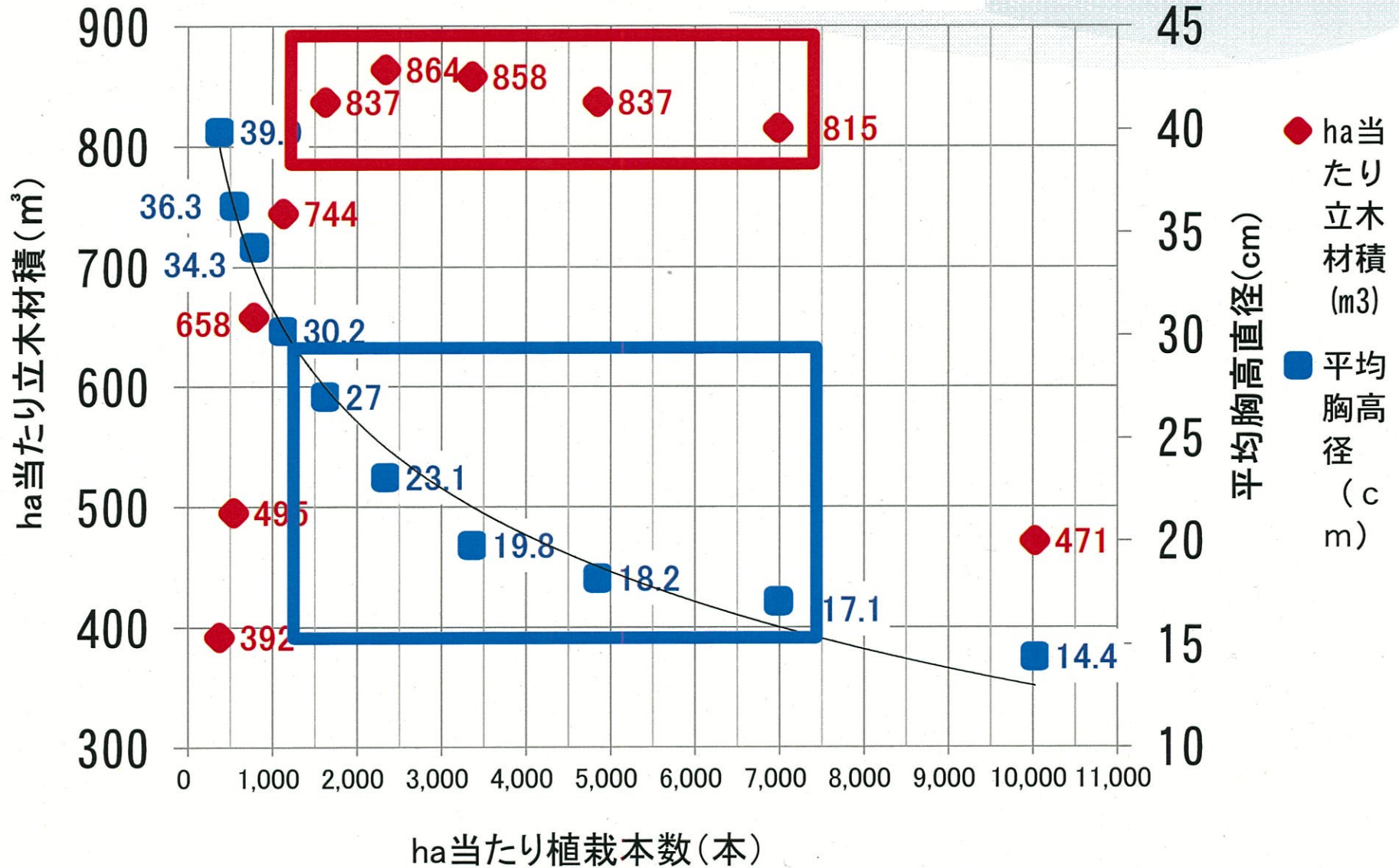
除 伐 昭和57年

選木枝打 昭和61年、平成12年

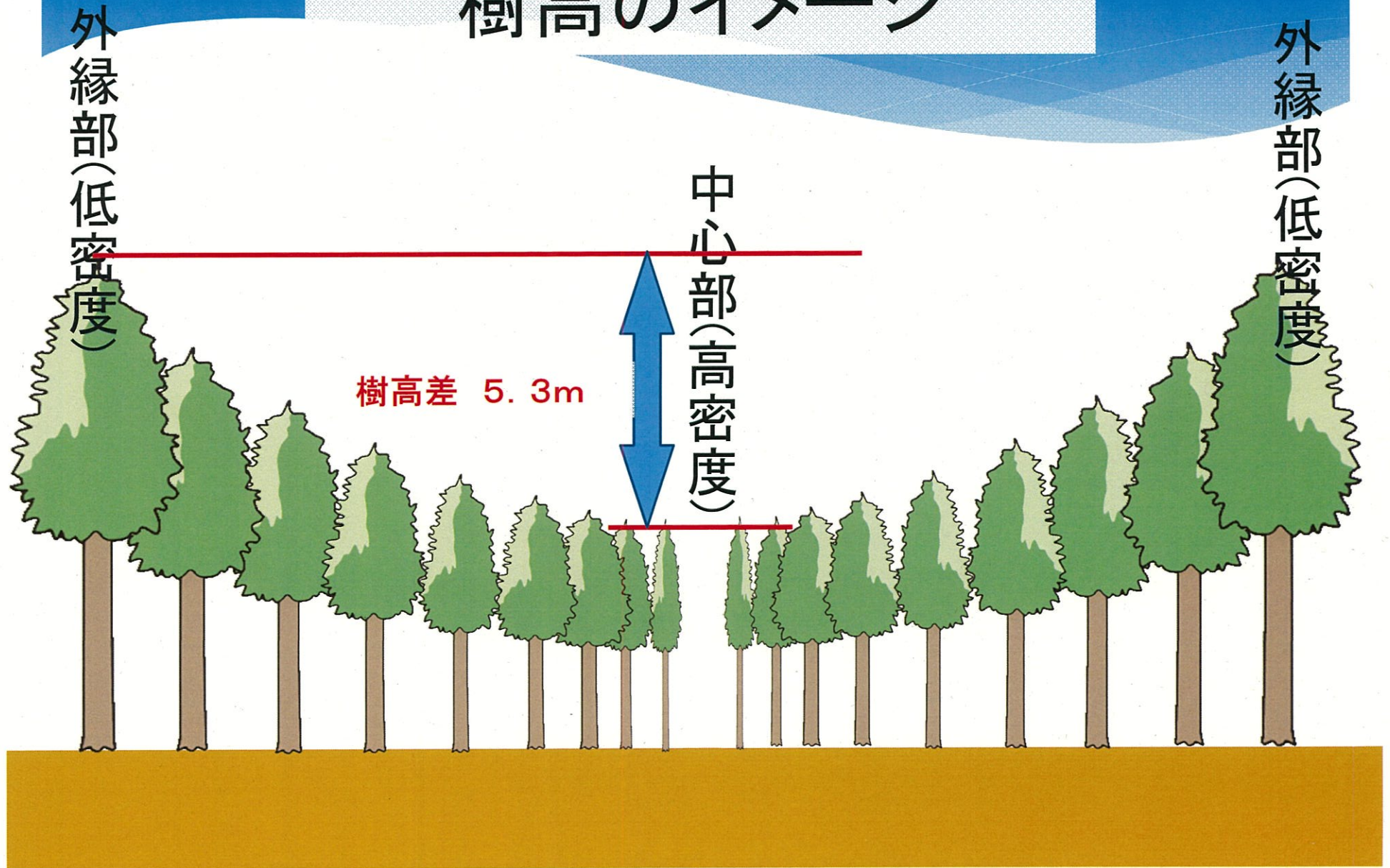
(間伐は実施していない。)

ha当たり植栽密度と材積及び 胸高直径との相関

平成26年度(41年生時)調査



樹高のイメージ



林分密度試験地の現況(まとめ)

- ① ha当たり材積は2,339本/haが最も多く、前後で減少
- ② 1,626本/ha~6,987本/haの範囲ではほぼ収量は一定。
- ③ 樹高は密度に反比例して大きく異なる。
- ④ 胸高直径や単木材積も密度に反比例して大きく異なる。